

子供ができる前にハーレーが欲しくて……。
後悔する前に
思い切って買っちゃいました!

Naomi Ohta

太田直美さん(34歳)

2004 XL1200R スポーツスター 1200 ロードスター





7月に買ったばかりのぴっかぴかのロードスター。ゼファーに比べると走っている時の安定感が全然違うとのことだ。

04 XL1200R ロードスター



初めてハーレー買っちゃいました オーナースシート



身長162cmほど平均的な身長の太田さんがまたがると土踏まずより前のつま先が全部地面に届く。これだけ届けばレイダウンの効果は十分あり。



新車で購入する時には装着したと言うエンジンガード。女性がハーレーに乗るのにはいちばん心配なのが取り回し時の重さだから、用心に越したことはないというわけだ。



マックと言う皮革屋さんで購入したスポーツスター用のサイドバッグ。値段は4万5000円ぐらいだったという。工具やウエスといった小物は入りそうなスグレモノ。ハーレーは荷物を積めないから必需品だ。



足付きを少しでもよくするために装着したギジマのロワリングキット。30mm車高が下がるリアショックのマウント位置を後ろにずらす→ショックが寝る→車高が下がるというわけだ。

氏名	太田直美
年齢	34歳
愛車	2004年式XL1200R ロードスター
購入した	2004年 7月
購入した場所	ハーレーダビッドソンレインボー
購入金額	約155万円
購入後、カスタムした箇所（費用）	
純正エンジンガード（購入時に装着）	
サイドバッグはMac製で4万5000円	
ギジマロワリングキット1万5000円（税込）	

Q1 バイク歴

免許を取ったのは23歳の頃。ホンダCBR250R、カワサキゼファー400。

Q2 ハーレー買ってよかったこと

北海道ツーリング。

Q3 購入前、イチバン心配だったこと

取り回しと足付き性。

Q4 購入時、イチバン悩んだこと

ボディカラーを決めること。

Q5 ハーレー買ってからイチバン楽しかったこと

北海道を走っているとき。

たえお金があってもなかなか購入に踏み切れないことが多い。男女を問わず、特に家庭を持つ方々にとっては、家族の反対などもあるだろうから、なおさらのことだろう。かたや我慢し通しの方もいらっしゃるけれど、かたやご夫婦またはカップルでバイクに乗られているという、端から見れば非常にうらやましいお二人もいる。こんな恵まれた人たちに「なぜバイクに乗るようになったのか？」と聞いてみると、男性が先にバイクに乗っていた女性にいつしよに乗るよう誘ったというパターンが多いようである。

ところが今年の7月にスポーツスター1200Rを納車したばかりの太田直美さんは違っていた。現在結婚している夫の京助さんとは知り合った時、すでにお互いがバイクに乗っていたと言う。

「社会人になってしばらくした23歳の頃、太田さんはバイクに乗ろうと決めた。そう思った女性の90パーセントが経験するだろうと思われる、最初にして最大の障害である「親の反対」を簡単に押し切ったと押し切つて、思いついてすぐに免許を取って、バイクを買いました」

「そのあと夫と知り合ったら二人ともバイクに乗ってたんで、自然にツーリングに行ったりするようにになりました。それで結婚する前に夫がハーレー（FXDX）を買って、それまで夫の乗っていたゼファーでロングツーリングなんかにも出るようになりまして。結婚して夫婦でツーリングに行くようになって、う親の怒声を背中中に「私の夢だからと押し切つて、思いついてすぐに免許を取って、バイクを買いました」

結婚して2年。「そろそろ孫の顔が見たいなんて言われて……。今しかないという覚悟でスポーツスターにステップアップしたんです」。免許を取った時のように思い切った太田さん。決して高くはない買い物に悩んだりしませんでしたか？という質問に「迷うんだったら買うほうがいいんです！」と意外なお答え。「買わなかったら乗れませんからね、買わないで後悔するなら買って後悔したほうがいい。そ

ねえ」とうらやましがられるようになった。

「結婚して2年。そろそろ孫の顔が見たいなんて言われて……。今しかないという覚悟でスポーツスターにステップアップしたんです」。免許を取った時のように思い切った太田さん。決して高くはない買い物に悩んだりしませんでしたか？という質問に「迷うんだったら買うほうがいいんです！」と意外なお答え。「買わなかったら乗れませんからね、買わないで後悔するなら買って後悔したほうがいい。そ



思い切りのいい判断で積極的にハーレーライフに飛び込んだ太田直美さん。また来年も北海道に走りに行きたいという。